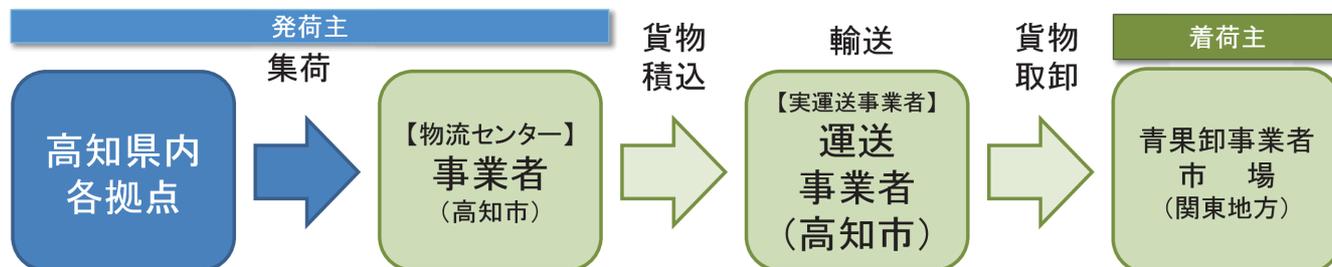


## バース接車コントロール、専門積込作業員配置による積込時間の縮減 高知県

### 1. 実施者の概要



#### 輸送特性

- 県内各地拠点からトラックで集荷し、物流センターに貨物を集荷。
- 物流センターから納品先からの受注情報に基づき、荷揃いしたうえで、トラックに貨物を積込、輸送している。貨物は多品種少量品。積込箇所は1箇所、取卸箇所は複数箇所となっている。
- 関東方面の市場の多くでは、取卸において種類ごとに取卸場所が相違していることから、指示された場所ごとに取卸作業を実施している。

#### 荷種

- 高知県における1次産品であり、高い鮮度が求められる荷種である。
- 高知県では1種類の産品を大量に輸送するのではなく、多品種少量品を積合せして輸送しているため、高い輸送効率が確保しづらい特性がある。

### 2. 事業概要

#### 改善前

#### 運送事業者

13時台に  
バース接車



#### 発荷主



集荷した荷物は、仕分され、  
方面別車両前の荷捌きスペースへ移送

荷捌きスペースに荷物が溢れないように積荷が仕分され運ばれば、速やかにドライバーが積込作業を実施

#### 改善後

#### 運送事業者

14時台に  
バース接車



専門積込み作業員を配置

#### 発荷主

貨物量等を考慮し、バース、接車時間を細かくコントロール

隣接する荷さばきスペースを確保することで、積込をまとめて実施

バース接車時間を遅らせ、ドライバーの積込作業時間を縮減

### 3. 実態と課題

- 実態：天候等による貨物量の増減、各集荷地の作業状況により集荷時間が変動する。そのため、各集荷地から物流センターまでの到着時間にバラつき(午後4時くらいまで)が発生するため、積込作業時間が長時間化している。積込作業は、午後1時台から6時台までの約4～5時間を要している。生産者側の要因があるため、集荷時間を早めて、積込作業完了時間を前倒し、出発時間を早めることは困難な状況にある。
- 課題：4～5時間程度要している積込作業時間を縮減するために、バース接車コントロールをきめ細かく実施。さらに専門の積込作業員を設置し、積込業務と運行业務を切り分けて拘束時間を削減。

### 4. 事業内容

バース接車  
コントロール

○主に市場の休日前となる「火・土曜日」には、バース接車台数が少なくなるため、構内の荷捌き場所に空きスペースが確保できるため、仕分された貨物を一時保管できる。当該スペースに積込貨物を一時保管し、バース接車時間を後倒しにすることで、積込時の拘束時間を縮減する。

専門積込  
作業員の設置

○受付から積込作業完了まで約5時間弱を要している。当該積込作業を専門の積込作業員が実施し、運転者がこれまで実施してきた業務を代替することで運転者の長労働時間を抑制する。

### 5. 結果

バース接車コントロール

改善前

○積込作業時間：約4時間15分

改善後

○積込作業時間：3時間  
(▲1時間15分／▲29.4%)

専門積込作業員の設置

改善前

○積込作業時間：約4時間45分

改善後

○積込作業時間：0時間  
○取卸作業時間：+30分  
(▲4時間15分)

※専門積込作業員の作業時間が新たに発生

### 6. 結果に結びついたポイント

- 発荷主における理解と協力体制が充実していたこと。
- 発荷主と運送事業者における話合いの場があり、円滑なコミュニケーションができていたこと。